

別紙

第1回公認心理師試験（追加試験）の合格基準及び正答について

1 合格基準

次の条件を満たした者を合格者とする。

総得点 230 点に対し、得点 138 点以上の者（総得点の 60%程度を基準とし、問題の難易度で補正した。配点は一般問題が 1 問 1 点、事例問題が 1 問 3 点である。）。

ただし、参考資料のとおり、問題の一部を採点対象から除外された受験者にあつては、総得点 229 点に対し、得点 138 点以上の者。

2 正答

【午前問題】

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11
1	2	3	4	5	3	3	4	1	4	2
問 12	問 13	問 14	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	問 22
5	4	5	3	1	4	2	5	3	5	3
問 23	問 24	問 25	問 26	問 27	問 28	問 29	問 30	問 31	問 32	問 33
3	2	3	5	4	4	5	3	5	3	4
問 34	問 35	問 36	問 37	問 38	問 39	問 40	問 41	問 42	問 43	問 44
1	2	2	4	3	4	2	4	3	4	2
問 45	問 46	問 47	問 48	問 49	問 50	問 51	問 52	問 53	問 54	問 55
3	3	2, 3	1, 4	1, 2	1, 2	1, 4	2, 5	3, 4	1, 3	2, 5
問 56	問 57	問 58	問 59	問 60	問 61	問 62	問 63	問 64	問 65	問 66
3, 4	3, 4	3, 4	3	4	1	5	5	2	3	2
問 67	問 68	問 69	問 70	問 71	問 72	問 73	問 74	問 75	問 76	問 77
2	4	5	1	3	4	4	2	3, 4	2, 5	1, 5

【午後問題】

問 78	問 79	問 80	問 81	問 82	問 83	問 84	問 85	問 86	問 87	問 88
5	4	2	3	5	2	5	3	1	4	4
問 89	問 90	問 91	問 92	問 93	問 94	問 95	問 96	問 97	問 98	問 99
4	4	4	4	1	4	3	5	5	3	3
問 100	問 101	問 102	問 103	問 104	問 105	問 106	問 107	問 108	問 109	問 110
1	5	5	5	2	5	4	5	4	2	2
問 111	問 112	問 113	問 114	問 115	問 116	問 117	問 118	問 119	問 120	問 121
2	5	3	1	4	1	5	2	1	1	1
問 122	問 123	問 124	問 125	問 126	問 127	問 128	問 129	問 130	問 131	問 132
2	3	1	2	1, 5	4, 5	1, 5	1, 4	1, 4	2, 3	1, 5
問 133	問 134	問 135	問 136	問 137	問 138	問 139	問 140	問 141	問 142	問 143
1, 3	1, 5	3, 5	5	5	3	4	3	5	4	5
問 144	問 145	問 146	問 147	問 148	問 149	問 150	問 151	問 152	問 153	問 154
4	2	4	4	2	2	4	2	1, 4	3, 4	1, 3

第1回公認心理師試験（追加試験）における  
採点除外等の取扱いをした問題について

問90 次の各種心理検査について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① バウムテストは発達レベルの評価を目的として用いられる。
- ② WAIS は5歳から15歳を対象とする個別式知能検査である。
- ③ 新版K式発達検査は養育者への問診により簡便に実施できる。
- ④ ベンダー・ゲシュタルト検査では器質的な脳障害を把握できる。
- ⑤ MMP Iはパーソナリティの全体像を把握するために有効である。

(採点上の取扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

選択肢が不明確であるため。